

車椅子を安全に 快適に移動させる 補助装置の導入・活用を



野網 義一 議員

車椅子は堅くてなめらかな床やコンクリート・アスファルト等を移動するのは容易だが、堅くても石畳のように凹凸していたり、雪が積もった道路、芝生や絨毯のように柔らかいところや砂やぬかるみを移動するのは大変困難。また、前輪が細く小さいため線路やグレーチング等の溝にはまったりして大きな事故に巻き込まれる事もある。

車椅子の前輪を浮かして人力車のようにすることででない人でも速く、安全に、快適に移動させることができる補助装置が開発され注目を集めている。

南海トラフの巨大地震で最大27mの津波に襲われると想定される三重県では、鳥羽市と合同でこの装置を使った避難訓練も実施されている。

この装置は、災害時だけでなく日常的にも大いに利用できるもの。車椅子利用者と介護者が一体となって、今まで車椅子だからといってあきらめていた所へ移動できる大きな可能性を持った装置と考える。是非紹介し普及させたい。



補助具を付けて段差を乗り越える

町長

社会福祉協議会で平成25年に4台、平成27年に2台購入した。平成27年度の福祉運動会で「福祉と防災のコラボレーション企画」として補助装置を使用した競技を行っている。

社協では、その後非常時用として保管し、行事や貸し出しはなかった。

来年度、総合防災訓練や福祉運動会での利用や健康・福祉・エコフェアでの展示コーナーで町民に紹介、貸し出しなどについてPRに努めます。

ロタワクチン10月より定期接種に

昨年4月より任意接種ロタワクチンの半額程度の補助が実施されてきたが、10月より定期接種に変わる。定期接種になると無料になるのか。

ロタワクチンは2種類あり生後6週から2〜3回接種する。

町長

8月以降に生まれた子で10月以降の接種から無料になる。が、定期接種の対象はいつからか。

の皆さんが不安にならないようよう対策を講じたい。

大規模土地開発やソーラー発電の設置で雨水の流出が心配

地球温暖化の影響で、日本各地で集中豪雨が多発、大型台風も来襲し大きな被害が出ている。降った雨が流出する関係では、土地がどのように利用されているのかも大いに関係する。池田町の土地利用の推移と近年急速に増加しているソーラー発電に何らかの規制を設けるべき。

町長

ソーラー発電施設への農地転用は、今後、排水関係についても要項のなかで指導する。大雨が降ったときに町民

土地利用の推移

(単位:ha)

		平成11年	平成21年	令和元年
宅地	住宅地	347	358	396
	工場用地	87	93	76
	商業地	37	55	42
	小計	471	506	514
道路		219	313	322
田		970	914	871
畑		149	140	131
山林		1582	1563	1562
雑種地		489	444	480

※雑種地のうちソーラー発電(農地法の4条5条の土地)令和元年は7ha